

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年7月7日

| | | | |
|-------|------------------|-------------|-------|
| 氏名 | | | |
| 所属 | 外国語学部 () 研究科 | 国際文化交流学科・専攻 | 3年次 |
| 派遣先大学 | パリ第13大学 | | 10ヶ月間 |

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

| | | |
|---|------------------|---|
| 1 | 住居形態は 何でしたか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 () |
| 2 | 住居形態の詳細を教えてください。 | 例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2 LKD)、広さなど (キッチン、トイレ、シャワーを二人で共有。ルームメートは中国人でした。自分の部屋には、洗面台、ベット、机、本棚がありました。大きさは1人で生活するには広すぎる部屋でした。部屋の中でも床がフローリングではなくコンクリートでした。) |
| 3 | 入居時手続き | 例：Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (Crous のオフィスで手続きをしました。必要書類を提出、保険等の確認をしてから寮へ移動しました。鍵を渡されずに寮に行かされ、寮に入れず電話しなくてはいけませんでした。寮の管理人さんから鍵を渡され、部屋の設備等を一緒に確認して入寮が完了します。寮内の洗濯機やごみ捨て場など詳しい説明はありませんでした。) |
| 4 | 費用 (月額) | 404€ (通貨を入力) (食費 食費含まない/月) |
| 5 | 支払方法 | クレジットカード (インターネットで支払い可能。オフィスに行けば現金でもクレジットカードでも支払いができます) (例：月ごとに現金で、クレジットカードなど) |
| 6 | 住居に附属する設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (暖房のみ。冷房はありません。) |
| 7 | 住居選択方法 | <input type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 () |

| | | |
|----|--------------------------|---|
| 8 | 周囲環境 | 例：近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (徒歩3分の場所に ALDI という中型スーパーがあります。基本的な食料、日用品はここで揃えることができます。徒歩15分、トラムで5分ほどの場所に Auchan という大型スーパーがあり、ここはパン屋や薬局もあり、生活に必要なものはここで揃えることができます。駅はトラムが2本通っていて、寮から徒歩5分ほどの場所にあります。バス停は寮の目の前にあります。) |
| 9 | アクセス | 例：大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (大学のメインキャンパスまでは徒歩8分、 Saint-Denis IUT (私が後期に通っていたキャンパス) まではトラムを乗り継いで約30分です。(トラム8番で Villaneuse Universite-Saint-Denis 、トラム1番で Gare de Saint-Denis-Marche de St. Denis 、駅から IUT までは徒歩3分) 。) |
| 10 | 留学中の住居に関してアドバイス | (今後留学をする学生に対して) : (Crous の職員の方は、英語を話すことはできますがあまり得意ではないようです。ですが、とても優しく教えてくださるのでわからないことがあるときは頼ったほうが良いと思います。メールで質問等するときは、英語で送ると返信が中々来ません。翻訳などを使ってでもフランス語で送ったほうが早く返信をしてくれます。寮の管理人の方はフランス語しか話しません。寮自体に関しては、古くきれいではありません。床もコンクリートです。棚の中に物が残っていたので、管理人さんと一緒にいるときに確認したほうが良いと思います。寮の設備についてですが、洗濯機とゴミ捨て場は0階のは玄関を入れて右の廊下へ入るとすぐあります。洗濯機は学生証の izly またはコンタクトなしで支払いのできるクレジットカードのみで支払い可能です。 ALDI にコインランドリーがあるので、洗濯機が壊れた場合や、学生証をもらうまではそこを使用すると思います。) |
| 11 | 引越された方は引越し先の住居形態を記入ください。 | <input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 () |
| 12 | 詳細を教えてください | 例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど () |

II.

II. 通信環境について (該当の項目を選択、または入力してください。)

| | | |
|---|-------------|--------------|
| 1 | 日本キャリアの携帯電話 | 持参した |
| 2 | 現地キャリアの携帯電話 | 現地でSIMカードを購入 |

| | | |
|---|-----------------|--|
| 3 | 現地携帯電話の取得手続きの方法 | 例：ショッピングモールの電気屋に行き SIM を購入 (銀行口座を開いたときに銀行の方にすすめてもらい、銀行の SIM を購入。特別な手続きは特にありませんでした。) |
| 4 | 自宅のインターネット接続環境 | 無線 (大学または寮への LAN 接続) |
| 5 | 大学内インターネット接続環境 | 無線 (大学または寮への LAN 接続) |

III.

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均) □現地通貨で記入。() 内に通貨単位を記入すること。

| | | | |
|----|-------------|---------------|------------|
| 1 | 宿舍費 | 250 (住宅手当支給後) | (ユーロ) /月 |
| 2 | 食費 | 230 | (ユーロ) /月 |
| 3 | 交通費 | 30 | (ユーロ) /月 |
| 4 | 通信費 | 19.8 | (ユーロ) /月 |
| 5 | 娯楽費 | 230 | (ユーロ) /月 |
| 6 | 図書費 | 50 | (ユーロ) /合計 |
| 7 | 学用品 (教科書など) | 30 | (ユーロ) /合計 |
| 8 | 被服費 | 60 | (ユーロ) /合計 |
| 9 | 医療費 | 0 | (ユーロ) /合計 |
| 10 | 雑費・その他 | | (通貨入力) /合計 |

上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む) □日本円または現地通貨で記入。

| | | | |
|----|----------------------|---------|-----------|
| 11 | 出願料・宿舍デポジット | 1435 | (ユーロ) /合計 |
| 12 | ビザ申請関連費 | 125 | (ユーロ) /合計 |
| 13 | 航空券代 (休暇時旅行費用は除く) | 210,000 | (円) /往復 |
| 14 | その他 | 400 | (ユーロ) /合計 |
| 15 | 留学全日程に要した総額 (概算) | 10,500 | (ユーロ) /合計 |

お金の持って行き方

| | | |
|----|---|----|
| 16 | <input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 50,000円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード(銀行名: 三菱UFJ銀行) <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 () | |
| 17 | 現地で銀行口座開設 | した |

| | | |
|----|--------------------------------|---|
| 18 | 手続き方法・利点・欠点 | フランスでは 3 か月以上滞在する場合、口座を開設しなければいけません。 Erasmus の方に銀行に連れて行ってもらいました。留学生何人かで一緒に行きました。銀行では英語が話せる方に対応していただきました。必要書類を Erasmus の方が教えてくださいるので、全て用意をして銀行へ行きます。手続き 1 週間後にもう一度銀行へ行きカードを受け取り、その後家に PIN コードが書かれた書類が届くのでそれを受け取り次第使用可能になります。 Erasmus で行くときに一緒に行くのが1番いいと思いますが、日本人に対応してもらえる銀行もあるみたいです。 |
| 19 | お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して) | 友人と食事をしたり、外出したりするとなるとパリ市内になると思います。パリは、日本と比べても他の国と比べても物価は高いです。スーパーなどの野菜や果物は案外安く手に入るので、できるだけ自炊をして節約すると十分に外食も楽しめるのではないかと思います。また、交通 IC 、 ImaginR が学生料金でお得なので、はやめに申し込んだほうがいいと思います。 ImaginR で交通費は大分節約できると思います。住宅手当も支給されるので、手続きが大変ですが申請したほうがいいと思います。 |

IV.

IV. 保険・医療について

| | | |
|---|---|--|
| 1 | 海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン） | C18 (10 か月分で 113,600 円) |
| 2 | 留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？ | いいえ |
| 3 | (2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？ | 選択してください。 |
| 4 | (3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？ | 選択してください。 その他 () |
| 5 | (4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？ | |
| 6 | 日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由は何ですか？ | |

V. 持ち物について

1 日本から持っていったもの

洋服、食器、鍋、シャツ類、薬、体温計、ドライヤー、フランス語の単語帳・参考書、消毒用アルコールジェル、鍵（鞆などにつけるため）、

2 現地で購入したもの

キッチン用品、掃除道具、布団、文具、仏日の紙辞書、小さめのスーツケース

3 （自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの

紙の日仏・仏日辞書（テストの際に持ち込める場合あり）、日本のお菓子、封筒、水に流せるティッシュ

VI. 留学先で困ったこと

ビザ等の手続きの類のものが本当に進みません。フランスでの手続きには時間がかかると聞いていましたが、予想以上に手続きがうまく進みませんでした。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

準備に関しては、本当にすべてを自分でしなければならないと書いてください。国際センターの方も大学と連絡を取ってはくださいますが基本的には自分と大学間で取ります。英語留学の場合でもメールはフランス語で来ますし、許可証を発行してもらうための登録、書類なども基本は全てフランス語です。フランス語で書いた志望理由書も提出しなくてはなりません。渡航前、私は本当にフランス語ができなかったので、授業で習った少ない知識と翻訳などを使って何とか書きました。また、ビザの手続き等も国際センターの担当の方から準備をしてくださいますなどの連絡もあります。フランス大使館は、予約なしで手続きができる日もありますが予約をして行ったほうがいいので、はやめに予約をすることをお勧めします。また、寮に関してですが私の場合寮から一切連絡がなく、自分で問い合わせをしてようやく連絡を取ることができたので、連絡が来てないと気づいたら早めに大学へ連絡をしてください。大学と寮の管轄は異なりますが、問い合わせれば寮の連絡先を教えてください。国際センターは本当に困ったときに行く場所という認識でいて、必要な準備は全て自分で調べて自分で行うことがベストだと思います。滞在中、何かわからないことや困ったことがあったら、**Erasmus** の留学生担当者がいるオフィスへ行き、すぐに質問してください。この担当の方は、英語も話せますしとても親切に教えてください。わからないことがある度に聞きに行くことで、担当の方もすぐに顔を覚えてくださいますしとても気にかけてくださいます。最初の留学生用のオリエンテーションもすべてフランス語なので、友人に大切なことがないかを教えてもらったり、オリエンテーション後に担当の方に聞いたりして必要最低限の情報だけでも収集するようにしてください。また、困ったことの欄にも書きましたが手続きが本当に進みません。ビザの手続きは3か月以内にしないといけないのですが、私の場合6か月程かかりました。学校以外の手続きは、**OFFI** や銀行などに直接行って聞くことが一番の解決策だと思います。「待て」としか言われなこともありますが、必ずきちんと手続きはできるので不安になりすぎずにいることが大切だと思います。日本食については、パリの日本人街と呼ばれる地域（メトロ **opera,pyramides** 周辺）に日本食レストランやアジアスーパーがあるので値段は高いですが、簡単に手に入れることはできます。日本人とのかかわり方ですが、私の場合は同じ大学に日本人がいまませんでした。ですが、1人もいないということも問題で、手続きがうまく進まない、トラブルがあったというときに特に前半は誰にどう相談すればいいのかもわからなくなりますし、不安で精神的にストレスが溜まってしまうのでよい距離感で日本人とも交流を持つことをお勧めします。私の場合は、日本語学科があり日本人留学生もたくさんいるパリ第7大学の **Association** のアフターに **2,3** 週間に1回参加し、日本人と交流していました。後半では、そこで仲良くなった日本人やフランス人の友人と休日に出かけたり、旅行に行ったりしました。ずっと日本人と一緒にいる環境はこの大学の場合ないと思います。ほどよい距離感で日本人とも交流することで不安などの精神的ストレスを軽くすることができると思います。また、パリには学生料金や無料で見学のできる美術館や観光スポットがたくさんあるので、このような制度も大いに利用して楽しい留学生活を送ってください。

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舍などの写真）を添付して提出してください。

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

| | | | | | |
|--------------------|---|------|-------------|---|----|
| 所 属 | 外国語学部 | 学科 | 国際文化交流学科 | 3 | 年次 |
| 氏 名 | | | | | |
| 派遣先大学 (国) | パリ第 13 大学 (フランス) | | | | |
| 所属プログラム・ 学部・研究科 | ・ L'UFR Literature, Laungues, Science Humanies et des Societes ・ International Business Program | 履修言語 | 英語 フランス語 | | |
| 留学期間 | 2018 年 9 月～2019 年 6 月 | | | | |
| 報告書提出日 | 2019 年 7 月 12 日 | | | | |

学修について

1. 学期区分

| 学期 | 授業期間 | 試験期間 | 履修登録するまでの過程 |
|---------------------------|----------------------------------|----------------------|--|
| 【記入例】 Fall Semester | 9 月 21 日 ～1 月 21 日 (14 週) | 1 月 24 日 ～2 月 1 日 | 英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の 1 週間は履修登録を加除できる。XX 先生に相談し、..... |
| 1 er semrster | 9 月 17 日 ～12 月 21 日 (14 週) | 1 月 7 日 ～1 月 11 日 | 出発前に大学へ提出した Learning Agreement を元に授業登録を行いました。この大学は基本的には Learning Agreement から変更なしで登録を行うため、事前にしっかり決めておいたほうがいいと思います。学科の担当の先生と授業の時間や振り分けられたグループを調整し、授業を決定しました。その後、Erasmus の担当者に Learning Agreement を再提出しますが、この時に神奈川大学のサインも必要になります。登録自体は担当の方がしてくださるので、自分で行う必要はありません。 |

| | | | |
|--------------|--------------------------|--------------|---|
| 2em semester | 1月28日 ～6月19日 (16週) | 月 日 ～ 月 日 | 前期中に Learning Agreement を提出しました。このプログラムは基本的に全員がプログラム内のすべての授業を受けるので変更がある場合は Learning Agreement を提出します。1学期と同様に、自分で登録を行う必要はありません。テスト期間に関しては、私のプログラムは全て授業内テストだったのでテスト期間はありませんでした。 |
|--------------|--------------------------|--------------|---|

2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

| 学期 | 履修科目名 | 合計時間 | 履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。 |
|------------------------|-----------------------------|--|---|
| | | (内訳) | |
| 【記入例】 Fall Semester | International relations IIB | 30時間 1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週) | 講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は【⑥【参考資料】授業時間数について】をご参照ください。 |
| 1er semester | Labo Oral | 28時間 2(時間/回) ×1 (回/週) × 14 (週) | 月曜に 1 時間ずつの授業でした。Labo はフォニックスの授業で、発音記号を扱いました。試験は授業内で筆記が 2 回、読みが 1 回ありました。試験対策は、発音記号を一から覚えて、授業内で扱ったものを何度も解きました。Oral については、会話の授業です。ゲームなどをしながら、ひたすら話す練習でした。1 回プレゼンテーションを行いました。授業はすべて英語で行われました。 |
| 1er semester | Grammaire | 35時間 2.5(時間/回) ×1 (回/週) ×14 (週) | 水曜に TD が 90 分、木曜に CM が 60 分でした。英文法の授業ですが、授業はすべてフランス語でした。内容としては、文法事項の説明、仏英の翻訳でした。仏日の紙辞書のみ持ち込み許可をいただき、テストを受けました。試験対策としては、授業内で扱った問題を何度も解いたり、フランス語も必要だったので単語を覚えたりしました。 |
| 1er semester | Litterature GB | 28時間 (時間/回) × (回/週) × (週) | 水曜に 90 分、火曜に隔週で 60 分の授業でした。イギリス文学の授業で英語でした。内容としては、モダニズムの詩や小説をパワーポイントを使いながら説明する授業でした。授業内に 1 回グループでプレゼンテーションを行いました。試験対策は、扱った詩や小説を理解できるまで読み、授業ノートを復習し、考察などを調べました。 |
| 1er semester | Civilisation GB | 21時間 1.5(時間/回) ×1 (回/週) ×14 (週) | 水曜に 90 分の授業でした。イギリスの歴史や、現在の社会を扱う授業で英語での授業でした。授業内にテストが 1 回と最後にレポート提出がありました。試験対策は、教科書や授業ノートを復習しました。レポートは、イギリスの EU 脱退について書きました。 |

| | | | |
|-----------------|---------------------------------|--------------------------------|--|
| 1er semestre | linguistique | 14時間 | 火曜に 60 分の授業でした。授業はすべてフランス語でした。この授業は、Labo、Oral の単位を取るために受けなければならない授業でした。内容としては、言語学でアクセントや発音記号でした。テストは期末に 1 回、試験問題等もすべてフランス語だったので仏日の紙辞書の持ち込みと、回答を英語で書くことの許可をいただき、試験を受けました。試験対策は、友人が参考資料を英語に訳してくれたのでそれを使って勉強しました。 |
| | | 1(時間/回) ×1 (回/週) ×14 (週) | |
| 2em semestre | Intensive French | 18時間 | 留学生用のフランス語の授業です。授業はすべてフランス語でした。内容としては、会話文を読む練習や文法、フランスについてフランス語で書かれている文章を読むなどでした。試験はありませんでした。毎回、すべての分野で課題がありました。 |
| | | 3(時間/回) × (回/週) × (週) | |
| 2em semestre | Business English | 18時間 | 授業は英語でした。内容としては、簡単な文法事項の確認や問題のある企業の解決策を考えるなどでした。筆記試験はなく、プレゼンテーションを3回行いました。そのうち2回は、録音をしてデータを提出するというものでした。また3回中2回はペアで、1回は個人で行いました。 |
| | | 3(時間/回) × (回/週) × (週) | |
| 2em semestre | Cross-cultural Communication | 18時間 | 授業は英語でした。内容としては、異文化コミュニケーションの基礎から様々な国を例に挙げて違いを理解するというものでした。パワーポイントを使用しての授業ですが、授業後に配布してもらえるので、授業中は話に集中できます。テストは3回ありました。試験対策は、パワーポイントを確実に理解してノートと照らし合わせながら勉強しました。 |
| | | 3(時間/回) × (回/週) × (週) | |
| 2em semestre | Corporate communication | 18時間 | 授業は英語でした。内容としては、企業戦略の授業でどのように企業が宣伝をしているかを分析したり、それを生かしてグループで会社・商品を考えプレゼンテーションをしたりしました。筆記試験はなく、プレゼンテーションが2回ありました。 |
| | | 3(時間/回) × (回/週) × (週) | |
| 2em semestre | European Institutions | 18時間 | 授業は英語でした。内容としては、EU内の様々な機関についての授業で、毎回資料を読みグループで問について考え発表するというものでした。試験は期末で1回のみで、グループプレゼンテーションが1回でした。試験対策は、資料をもう一度読んだり、自分で調べたりしてEUの機関についての理解を深めました。 |
| | | 3(時間/回) × (回/週) × (週) | |
| 2em semestre | International Trade | 18時間 | 授業は英語でした。内容としては、国際貿易の基礎から歴史についてで、パワーポイントやビデオを使用しての授業でした。筆記試験が3回ありました。最初のテストがあまり良くなかったため、救済措置として国際貿易に関するレポートを書きました。試験対策は、授業ノートを復習してしっかり理解できるように勉強しました。 |
| | | (時間/回) × (回/週) × (週) | |

| | | | |
|-----------------|---|----------------------------|---|
| 2em semester | Business English (one- week game) | 21 時間 | この授業は、1 週間ドイツ、ベルギー、オランダの学生、交換留学中の留学生、現地の学生でグループワークをするものでした。英語でコミュニケーションを取りながら、問題を解決していくものでした。最後にグループでプレゼンテーションを行いました。 |
| | | (時間/回) × (回/週) × (週) | |
| 2em semester | Six-week Internship | 時間 | 自分でインターンシップ先を見つけ、6 週間インターンシップを行いました。私は、日本のチャリティー団体で行い、日本文化イベントの企画、運営を行いました。インターンシップ後、20 ページのレポートと約 10 分間のプレゼンテーションを行いました。 |
| | | (時間/回) × (回/週) × (週) | |

※履修時間の詳細が無記入になっている科目は、毎週決まった時間に授業が開講されていた訳ではなく、○時間×○週という記載ができないため。

3, 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について (授業全般を通して記入)

基本的に予習は出された課題をこなしていました。復習については、授業ノートやプリント、配布されたパワーポイントを参照してきちんと理解するようにしていました。また、友人からノートを見せてもらったりわからないことがあったら聞いたりしました。前期はテストがとても難しかったので、後期は前期よりも計画的に勉強するように心がけました。基本的にフランスでの授業内容は日本では学んでいないことで、用語や基礎がわからないことも多かったので、1つ1つ調べるようにしていました。英語の単語でもわからないものが出てくることもあったので、つづりを予想するかカタカナで書いておいて授業後に調べるようにしていました。

4. 語学力について (留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入)

英語に関しては、留学当初自分から中々話せず、友人と話していても聞いていることが多かったのですが、少しずつ自分で話すように意識するようになってたくさん話すようになりました。わからなくても、わかったふりをしてしまうことも多かったのですが、わからないということも伝えられるようになりました。発音を気にして話せなくなったりすることもありましたが、兎に角話すように心がけていました。

フランス語に関しては、授業を取っていたにもかかわらず、行ってみると全く聞き取れず、話せずという状況でした。当初はすぐに「フランス語はわからない」と言って誰との会話でも英語で行っていましたが、フランス語を話せる日本人留学生と出会ったことでモチベーションも上がり、大分理解はできるようになりました。文法や単語が使いこなせているかは別として伝えたいことを伝えられるようにはなりました。授業内でもフランス語で説明されて理解できるようになりましたし、文章も読めるようになりました。フランス語に対するモチベーションが本当に上がったと思います。

4. 研究について (※大学院生のみ記入)

5.

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

授業の1番の目的であった **Cross cultural communication** については、たくさんの資料を読み知識がとて増えたのではないかと思います。授業中に発言することは得意ではなかったのですが、日本はどのようなか、資料に書いてあることは本当なのかと聞かれることがあり、その時にはきちんと説明ができたと思うので、その点は成長できたのではないかと思います。英語で授業を受けるという点については、日本でもオールイングリッシュの授業を受けていましたが、やはり全く異なるものでした。ノートを取ることに話を聞くこと両方に集中することはとても難しく苦労しました。少しずつ慣れて、何が大切なのかを考えながら授業を受けることができるようになりました。家にいるときはできるだけ英語で映画やドラマを見て耳を慣らしていました。また、専門科目について日本では学んでいない科目を勉強していたのでとても難しかったです。自分で基礎から調べて授業を少しでも理解できるようにしていました。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

前期は試験対策も取り組んではいましたが、テストの難易度が想像をはるかに超えて難しかったです。例えば、文学の試験では小説の一部が抜粋されて作品名や、その作品についての問いに答えるというもので小説も同じ時代の同じような背景のものしか扱っていないので小説をきちんと読んで理解していないとすべての問題に答えることができないというものでした。試験対策をもっと隅々まで細かく、きちんと理解できるまでしなくてはいけなかったと感じました。

日本で、英語ですべて受けられると言われていたにも関わらず、行ってみるとフランス語でしか開講されていない授業があったり、フランス語での授業を受けその授業の単位を取らないと単位がもらえなかったりというものがあってとても戸惑いました。私の場合、フランス語が授業を受けられるレベルはなかったのでいくら辞書の持ち込みができて単位を取ることができませんでした。このようなことが起こりうるということを理解しておいたほうが良いと思います。また、私は前期にフランス語の授業を取ることができませんでした。FLEという留学生向けの授業がありますが2018/2019はB1レベルからしか授業がありませんでした。私の場合はこのレベルが合っていないということもありましたが、学科の担当の先生から **Learning Agreement** に記載がないため、受けられないと言われていたので授業が取れないと思っていたのですが、実際は **Learning Agreement** に記載がない場合でも FLE は受けられるということでした。それを知ったのが前期の半分過ぎた辺りでとても悔しい思いをしました。FLE はフランスへ行ってからでも **Learning Agreement** に付け足せば授業を受けることができます。

2.3.

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

パリ第13大学、そして大都市部への初めての派遣で参考にする情報も十分にはなく、留学先でも初めは日本人学生がおらず不安ばかりでしたが、自分から行動したことでたくさんの人と出会い、今の満足感を得られたと思っています。履修の仕方やビザ等の手続きがスムーズにいかず、どうしたらよいかもわからなかったときに留学担当の方や友人に何回も聞いたり、移民局に何度も行ったりしました。自分から動くことが苦手でしたが、自分でするしか方法もなかったのでフランス語もわからないのに1人で英語の話をしない移民局に行ったりしたことで行動力がついたと思います。初めての場所で、言葉もわからなかった場所で過ごした10か月で精神的にもとても鍛えられたと思います。また、様々な国の人、様々な年齢の人たちと出会ったことで考え方の視野が広がったと思います。“普通”はなくて、様々な考えを持っている人がいることを再認識しました。それと同時に、簡単に口にしてはいる“異文化理解”がどれだけ難しいものなのか身をもって感じることができました。この難しさを実際に異文化に触れて感じましたが、わたしは本当に異文化を理解できる人になりたいと思いました。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス (内容ごとに項目を分けて記入)

当初はわからないことばかりであり外に出かけられなかったのですが、はじめからたくさん調べて外に出るべきだったと感じています。また、ルームメイトとももっと仲良くなって一緒に外出したり話をしたりできたらよかったなと思います。

学校の場所で仕方がないのですが、寮の周辺は治安があまりよくありません。私自身は危ない目に合うことはなかったのですが、夜遅く帰ると酔っ払った人や危なそうな人を目にするのもあったので本当に気を付けるべきだと思います。寮の周辺だけでなく、パリ市内でも治安があまりよくないところもありますし、観光地などではスリも多く、日本人は狙われやすいのでメトロ内や人混みでは注意をして生活してほしいと思います。デモもよく行われており、私の滞在期間も約8か月間は毎週行われていました。駅も閉鎖されるので外出するときにはどこでデモが行われているのか確認して外出したほうがいいと思います。また、ビザ等の手続きはスムーズに進むことはないのですべてできるだけはやく行ったほうがいいと思います。日本で取ったビザをフランスで有効化する必要があります、OFII という移民局での手続きが必要です。書類を提出し、招集書が届くので指定された日時に OFII へ行き、スタンプをもらって手続きが完了します。OFII への書類提出は、郵送だと届かない可能性があるのも自分で OFII まで直接持っていくのが確実です。OFII に電話で問い合わせをしようと思っても電話は通じず、メールを送っても返事が返ってこないのも直接問い合わせに行くことがベストです。OFII の職員の方は英語が話せない方もいます。銀行口座の開設は Erasmus で留学生はまとめて連れて行ってもらえるので、その時に行けば英語でも対応してもらえますし安心して手続きができますと思います。フランスは留学生でも住宅手当がもらえるので手続きは大変ですが、もらうと生活費に少しでも余裕ができると思います。私の場合は、書類をもらいに Crous のオフィスへ行ったときに、必要な書類をすべてまとめていただけたので簡単に申請ができましたが、基本的には自分でしなければいけないので下調べをしてすぐに申請できるように準備をしておくといいと思います。ImaginR という学生用の交通 IC があり、とてもお得なのでフランスに着いて、大学から学生証明書がもらえるので、もらった後できるだけすぐインターネットで申し込みをすると思います。申し込みをしてから約1か月で手元に届きます。私は届かず、北駅の窓口まで問い合わせに行きました。フランスで必要となることがあるので、顔写真と戸籍をフランス語に翻訳したものを持って行っておくといいと思います。

住む場所はパリ郊外ですが、パリ中心部までトラム、RER を使えば40分程で行くことができます。RER とはパリ市内とパリ近郊の急行電車です。パリには26歳以下の学生は美術館など無料または学生料金で見学ができる場所がたくさんあるので様々な場所に行くことをおすすめします。

2.5.

※作成できましたら国際センターまで、Feelnote のプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書(派遣先大学・氏名)に変えてください。